

## 一般社団法人島根県労働者福祉協議会第7回定期総会 **福祉事業団体の基盤拡大に向けた取り組みの強化を!!**

島根県労福協は、6月18日、労働会館401号室において13会員24名の代議員、役員20名出席のもと第7回定期総会を定刻13時30分に開催しました。総会は、連合島根の福田一代議員（電機連合）を議長に選出し、議事録署名人・書記の指名、総会成立宣言と次第を進めました。



福田議長



成相理事長

冒頭、成相理事長は、「今朝、大阪市を中心に発生した地震に対するお悔やみとお見舞いを申しあげる。一億総活躍社会を目指す中での働き方改革について、働かせる側の視点でしか見ていないという危惧があり、労働者がなぜ働くのか、何のために働いているのかという視点が欠けている。働くことにやりがいや価値観が見出せるかということが根幹であり、このことを労使や社会全体で考える議論が必要である。古賀伸明連合第6代会長は、『これからの社会と働くことについて、働くことは自分が生きている証を刻み込んでいくことであり、働くことを通じて社会の一員として成長し多くのことを次世代へ引き継いでいく役割を担っている。働くことを通じて人と人がつながり、最終的には組織と社会・地域がつながることにより社会の課題を解決していく。こういうことが働く営みではないか、新しい価値を創造していくことが働くことの大きな価値ではないか』と述べている。このことは労福協運動とも共有しており、家族の絆や地域のコミュニティー、職場での連帯・支えあいを深めるため助け合いや共助の倫理観を取り戻し、人と人とのつながりを大切にしていこうとするものである。就職サポートセンター島根の活動として、今年度より中高年齢者就労支援に加えて女性就労支援事業を取り組むことになった。就労支援事業はただ単に労働力の確保だけでなく支援をすることによって、働く喜び・楽しみを享受し社会とつながることに資することを目指したい。連合傘下組織や地区労福協会員の加盟所属企業へ訪問を行い、経営側との接点を持てるようご配慮いただきたい」旨の挨拶をしました。

### 【議 事】

- 第1号議案 「2017年度活動報告及び決算報告並びに監査報告に関する件」
- 第2号議案 「2018年度活動計画並びに予算（案）に関する件」
- 第3号議案 「2018年度会費の金額に関する件」
- 第4号議案 「2018年度役員報酬の総額に関する件」
- 第5号議案 「役員補充選出の件」
- 第6号議案 「退任役員への役員退任慰労金支給の件」
- 第7号議案 その他

第5号議案を除くすべての議案について、福間専務が報告、提案を行い、大坪監事が「2017年度会計監査報告」並びに「公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告」を報告し、以下の協議を経て全会一致で可決承認しました。大田地区労福協山室代議員から「生活困窮者自立支援法改正により、くらしサポートセンター島根、就職サポートセンター島根の相談体制の充実がより必要である。地方自治体への政策提言に医療・介護分野職員の待遇改善等の内容を盛り込むべき。労使共同セミナーの幅広い開催を」との要望・質問があり、福間専務が答弁しました。



第6号議案では、仲田役員選考委員 山室代議員長から、役員補充選出の件について、役員選考委員会の論議経過の報告及び役員候補者の推薦について提案があり、全会一致で承認されました。

総会全景



総会を一旦終了し、2018年度第1回理事会を開催し、その後、総会を再開し、新旧役員挨拶などの次第を進め、第7回定期総会は15時40分に閉会しました。

### 【今総会で退任された役員のみなさま】

- ◆鎌田 意男 理事（島根県生協連）
- ◆松田 英樹 理事（安来地区労福協）
- ◆濱村 章彦 理事（出雲地区労福協）

～長い間たいへんお世話になりました。～



## 島根県労働者福祉協議会 2018 年度役員体制 (敬称略)

役員名	名前	出身会員
理事長	成相 善朗	連合島根
副理事長	仲田 敏幸	連合島根
副理事長	矢倉 淳	全労済島根推進本部
副理事長	岩田 学	中国労金
専務理事	福間 三郎	員外
理事	烏田 政己	島根県生協連
理事	齊藤 直子	連合島根
理事	細木 芳治	連合島根
理事	井本 寿弘	連合島根
理事	坂下 貴英	連合島根
理事	原田 圭介	連合島根
理事	福島 真吾	安来地区労福協
理事	乗本 克己	松江地区労福協
理事	細木 勝	雲南地区労福協
理事	浅津 智一	出雲地区労福協
理事	柿田 賢次	大田地区労福協
理事	清重 勝也	江津地区労福協
理事	安田 茂樹	邑智地区労福協
理事	岸本 武士	浜田地区労福協
理事	原田 進哉	益田地区労福協
理事	長田 寿幸	隠岐地区労福協
監事	景山 誠	連合島根
監事	河野 博昭	連合島根
監事	大坪 清実	中国労金

※下線表示は、新任役員

## レディース仕事センター活動開始

島根県委託事業である女性就労支援事業がスタートしました。5月7日(月)、新田典利商工労働部長、白石恵子島根県議会議員他計15名の来賓のご臨席のもと、レディース仕事センター松江の開所式を労働会館で、また、野坂一弥商工労働部参事、新田典利商工労働部長大屋俊弘島根県議会議長他計9名の来賓のご臨席のもと同浜田の開所式を就職サポートセンター浜田で行いました。雨にもかかわらず関係団体の参加をいただき、屋内にて主催者挨拶・来賓代表祝辞の後、テープカットセレモニーを行い、無事に開所式を終えました。従来のミドル・シニア仕事センターの活動とあわせて、皆さん方からのご支援・ご協力をお願いします。



## フードバンク始めます

島根県労福協は、フードバンクしまね「あったか元気便」準備会へオブザーバー参加しており、松江市内一部校区の支援対象児童家庭へ、今夏休み期間中2回食品を宅送します。6/20、松江地区労福協幹事会でこの間の経過、目的、今後の活動予定を説明し、支援・協力を要請しました。今後も随時情報をお知らせします。

## 中央労福協

## 「全国研究集会」開催される

テーマ「貧困や社会的孤立に陥らない地域をつくろう！」

◆2018年6月4日(月)～5日(火)

◆「岡山市 ホテルグランヴィア」

◆島根県労福協参加者(敬称略)

仲田 敏幸(連合島根)、乗本 克己(松江地区労福協)、倉井 宏朗(浜田地区労福協)、原田 進哉(益田地区労福協)、片寄 幸正(労金)、佐伯 裕子(全労済)、福間 三郎、松本 敏和(県労福協)

## 【1日目】

(1) 神津里季生労働者福祉中央協議会会長のあいさつ(要旨)

2019年、中央労福協設立70周年を迎える。「労福協の理念と2020年ビジョン」の検証と見直しを行う中、「福祉は一つ」の精神を大切に、今後とも、支えあい、助け合いのネットワークを広げていくことが大切である。

(2) 講演Ⅰ「生活困窮者自立支援制度の意義と制度見直し 地域共生社会の実現に向けて」本後 健 厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室長

生活困窮者自立支援制度の見直しでは、①自立相談支援事業②家計改善支援事業③就労準備支援事業の3事業の一体的実施の促進が地方自治体へ求められている。社会的孤立をなくすためにも「我が事、丸ごと」の地域共生社会の実現を目指す必要がある。

講演Ⅱ「若者支援活動の“これまで”と“これから”」

谷口 仁史 NPOスチューデント・サポートフェイス代表理事

全国に先がけた佐賀県での活動報告。今後の子ども・若者支援の在り方を考えるうえで欠かせないのは、「来ることを待つ」対策では不十分で、分野横断的な対応を可能とするアウトリーチ(訪問支援)が必要である。

## 【2日目】

(3) 事例報告とパネルディスカッション

①「コープファームおかやまの取り組み」

眞木 貴正 専務理事

②「“ともに”はたらき仕事をおこす」

牛草 賢二 ワーカーズコープ中四国事業本部事務局長

③「若者の学びと成長を支える～奨学金ネットワークの構築」鈴木 隆司 北海道奨学金ネットワーク事務局次長

④「沖縄県 ろうきん・全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金について」岡野 みゆき 沖縄県労福協事務局長

⑤「子どもの貧困対策への取り組み」

林 善章 徳島県労福協専務理事

単独組織では困難な活動でも、他組織とネットワークを形成すれば可能となることもある。また、同質の協力は和(足し算)にしかならないが、異質の協力は積(掛け算)になることを再確認できました。



## 中国労働金庫第15回通常総会開催される

☆第6期中期経営計画スローガン

### 「いま、はなしたい 未来のこと」 ～ずっとそばで、あなたに“夢と共感”を届け続けるくろうきん～

中国労働金庫の第15回通常総会が6月25日（月）13時より、臨時代議員ほか185会員（委任会員2,230会員、合計2,415会員）の出席のもと、広島市のホテルグランヴィア広島において開催されました。



日銀のマイナス金利政策が継続され、厳しい金融環境にある中で開催された今回の総会では、2018年度からスタートする第6期中期経営計画や2018年度事業計画などが提案され、全議案が満場一致で採択されました。

第6期中期経営計画では持続的な安定経営の基盤を確立するために、「顔の見える活動」「コンサルティング機能の発揮」「収益力の改善」という3つの基本方針が掲げられ、唯一の勤労者福祉金融機関として、会員との関係を活かした、真に会員利用者の生活設計・生活防衛・生活改善に資する具体策を展開していくこととしています。

ろうきん理念の原点に立ち返り会員との関係を再構築する中で、くろうきんが頼りにされ、必要とされる金融機関として、会員の活動とろうきん運動を持続的に発展させていくための基盤強化の取組みを、島根県内においても着実に進めていきたいと思います。

くろうきん>  
をご利用いただくことで  
**「社会に貢献  
できるしくみ」**

くろうきんでは、くろうきんの商品利用実績により「社会に役立つ」活動を展開しております。2017年度はいのちの電話島根へ231,400円を寄付し、いのちの電話島根より中国労金へ感謝状が寄せられました。

2018年度も引き続き取り組んでおりますので、今後ともご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



ZENROSAI NEWS

『2018 ぼうさいカフェ in しまね』開催しました

去る2018年4月28日(土・祝)第89回島根県中央メーデーにて、全労済島根推進本部として、『2018 ぼうさいカフェ in しまね』を出展いたしました。

多くのご家族連れの皆さまにご参加いただき、楽しみながら防災意識を高めていただきました。

ぼうさいカフェとは…

内閣府が防災知識モデル普及事業として、社会全体の防災力向上や国民の防災意識を高める為に推進している取り組みです。

自然災害に対して誰でもちょっとしたことで自分の身を守り、被害を小さくすることができます。「楽しく分かりやすく」をモットーに、自然災害写真展、非常食の試食やストローハウス等を組み合わせて開催しました。



～多数のご参加ありがとうございました～

**ストローハウスとは?**

ストローとクリップを使って簡単な家の模型を作り、家を強くするポイントを知ることが出来ます。



『2017年度 地区労福協役員 産別・単組代表者 合同会議』が開催されました。

去る2018年5月23日(水)、松江市の労働会館にて「2017年度地区労福協役員産別・単組代表者 合同会議」が開催され、9地区13産別、47名の皆さまにご出席頂きました。

議事としては、『「New-Zetwork」(2018年度～2021年度中期経営政策)』や『島根推進本部2018年活動経過報告および2018年度活動計画(案)』、ならびに『島根労済通常総代会の開催日程と総代選出について』などが説明・討議され、全労済島根推進本部の2018年度活動計画をご理解いただきました。



2018年総代選挙広告 総代選挙規約第10条につき、下記の通り実施します。

- 総代定数 100名
- 総代の任期 1年間
- 選挙区と定数 次の通りです

選挙区	定数	選挙区	定数	選挙区	定数	選挙区	定数
全県	18	安来	12	大田	4	浜田	8
松江	23	雲南	5	江津	4	益田	8
隠岐	3	出雲	12	邑南	3	合計	100

- 選挙区の受付期間 2018年6月1日～6月29日
- 立候補の方法 地区選挙管理人に立候補届を提出
- 選挙権・被選挙権 2018年5月31日現在のこの会の組合員(除:役職員)
- 選挙期日 2018年7月6日

島根県労働者共済生活協同組合選挙管理委員会